



東京証券取引所 市場第一部  
証券コード 6926

# 2011年3月期(2010年度) 決算説明会資料

2011年5月31日(火)

岡谷電機産業株式会社

# 〔 I 〕 2011年3月期 (2010年度)決算説明

## 2010年度

- 急激に受注が立ち上り、大幅な納期遅れが発生  
その対応に全員が追われた一年であった

(1)従って「人づくり」「質づくり」「新商品づくり」が  
道半ば

(2)一方、生産はフル稼働

「売上:145億円、営業利益:15億円」は確保

(3)大幅円高(2009年度 93円/\$ → 2010年度 86円/\$)

初めて年間平均値が1 \$ = 80円台になった

## 3.11 東日本大震災

1. 死者=1.7万人超、行方不明者=1万人
2. 復旧、復興は、非常に時間を要する
3. 東北オカヤ(株)(岩手工場、福島工場)共1週間後稼働開始  
4月1日現在、生産・物流共100%に回復
4. 原子力発電 → ECO発電に変わっていく(太陽光・風力・バイオマス等)
5. 部材メーカー並びに加工メーカー等の影響は、ごく一部
6. 顧客ユーザが一部部品入手困難につき、減産

||  
OKAYA受注減の可能性

# 2011年3月期 業績

## 業績(連結)

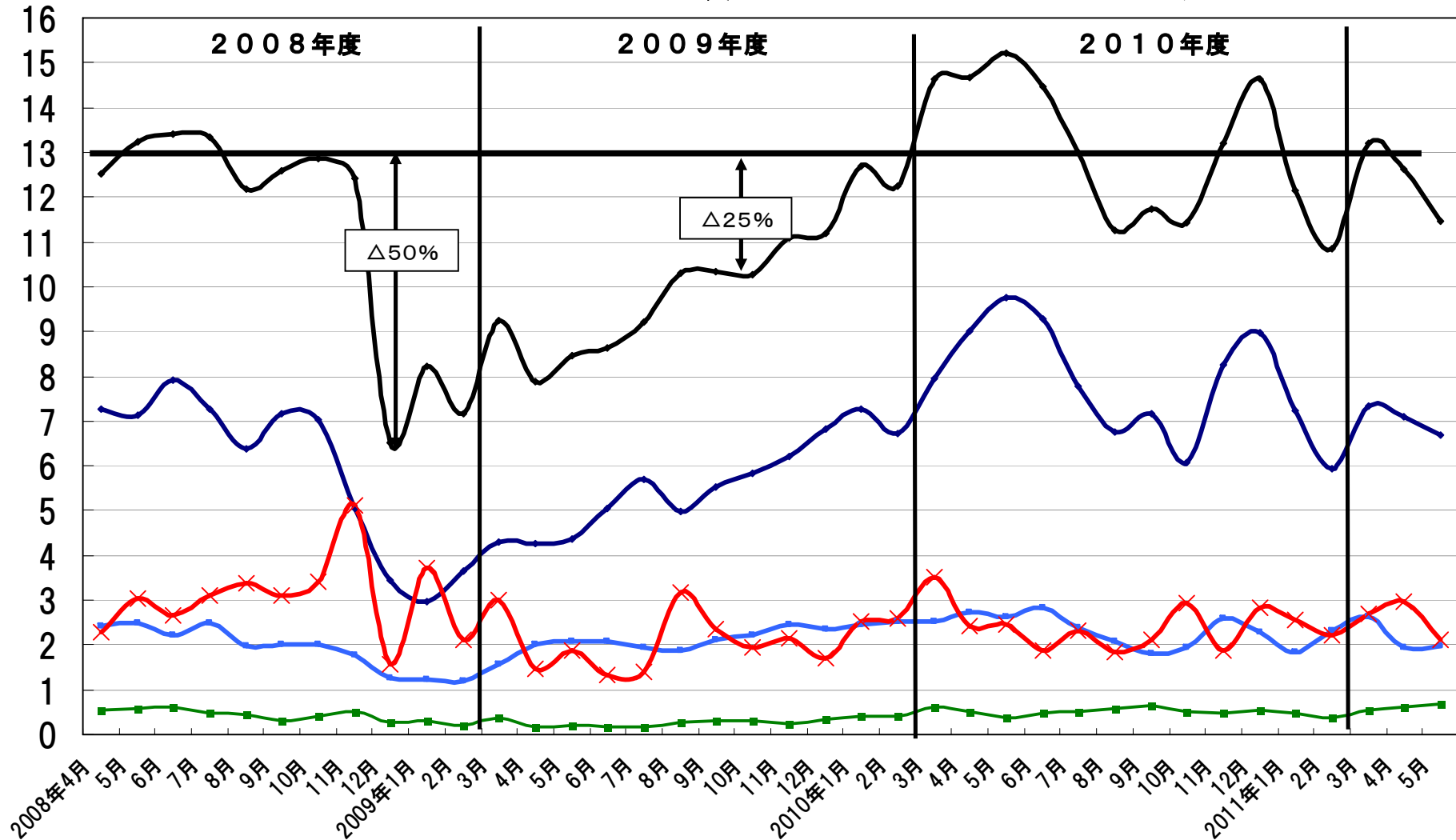
(単位:百万円、%)

	10/3期	11/3期	増減	増減率
受注高	12,371	15,850	3,479	128.1
売上高	11,839	14,488	2,649	122.4
ノイズ	6,399	8,459	2,060	132.2
サージ	2,399	2,664	265	111.1
表示	2,750	2,761	11	100.4
センサー	291	604	313	207.8
売上総利益	2,736	3,979	1,243	145.4
売上総利益率	23.1	27.4	(4.3)	—
販売費及び一般管理費	2,186	2,456	270	112.4
営業利益	550	1,523	973	276.6
営業利益率	4.7	10.5	(5.8)	—
営業外損益	△68	△64	4	—
経常利益	482	1,459	977	302.3
特別損益	10	△140	△150	—
当期純利益	245	895	650	364.4

## 受注高推移

(億円)

ノイズ    サージ    表示    センサー    トータル



# 2011年3月期 業績

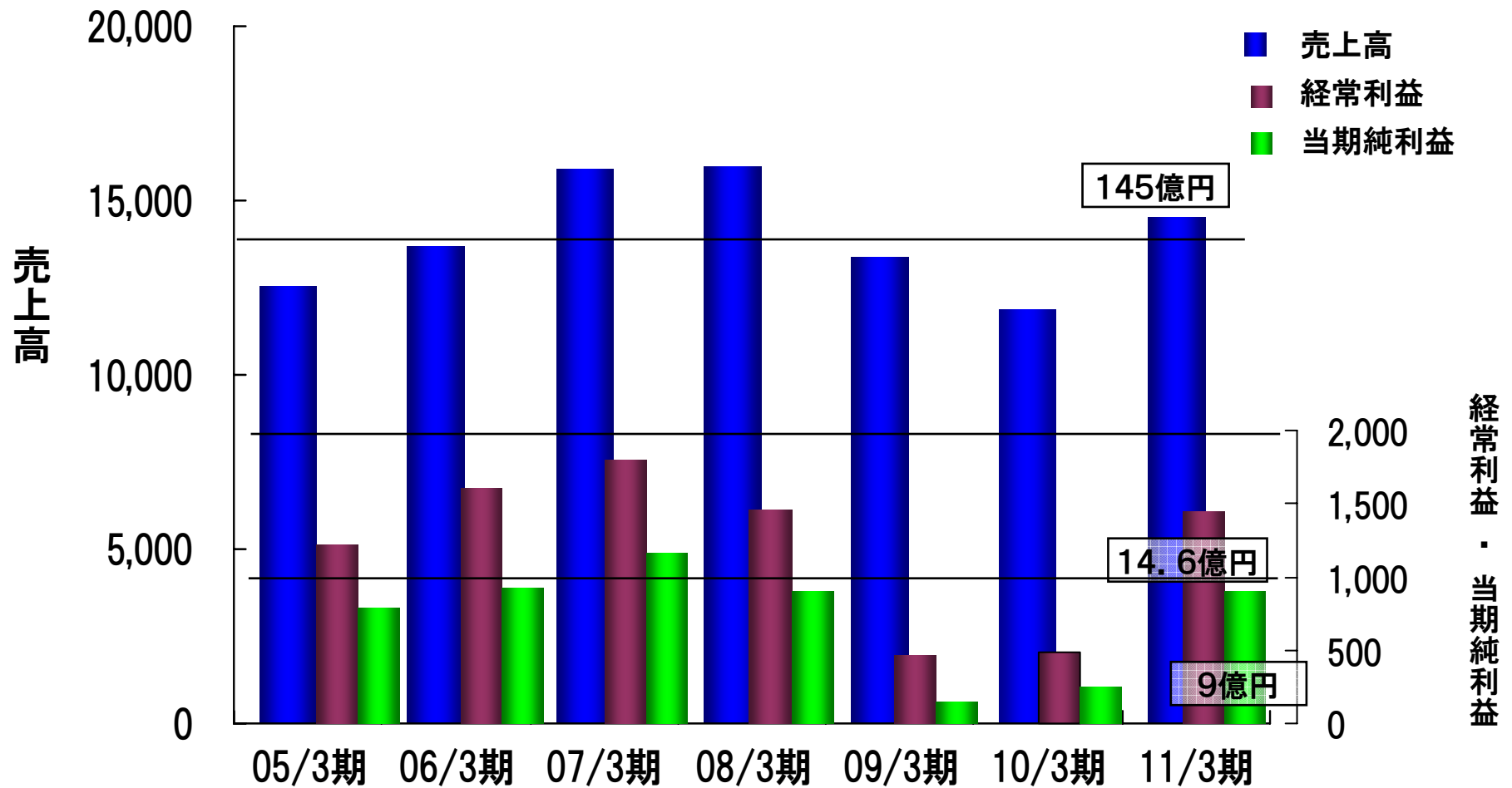
## 業績(連結)

(単位:百万円、%)

	10/3期	11/3期	増減	増減率
受注高	12,371	15,850	3,479	128.1
売上高	11,839	14,488	2,649	122.4
ノイズ	6,399	8,459	2,060	132.2
サージ	2,399	2,664	265	111.1
表示	2,750	2,761	11	100.4
センサー	291	604	313	207.8
売上総利益	2,736	3,979	1,243	145.4
売上総利益率	23.1	27.4	(4.3)	—
販売費及び一般管理費	2,186	2,456	270	112.4
営業利益	550	1,523	973	276.6
営業利益率	4.7	10.5	(5.8)	—
営業外損益	△68	△64	4	—
経常利益	482	1,459	977	302.3
特別損益	10	△140	△150	—
当期純利益	245	895	650	364.4

# 売上高推移

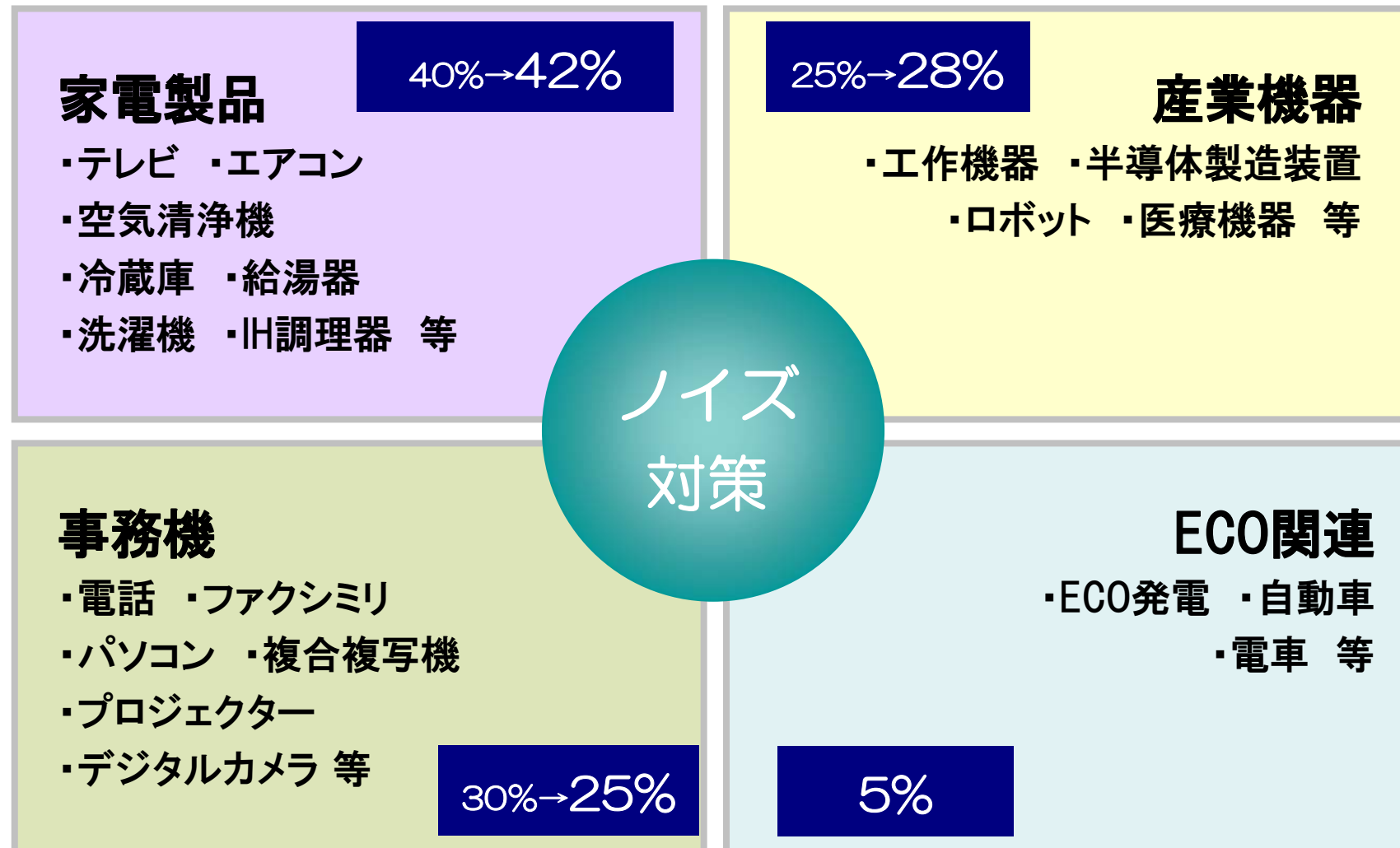
(単位:百万円)





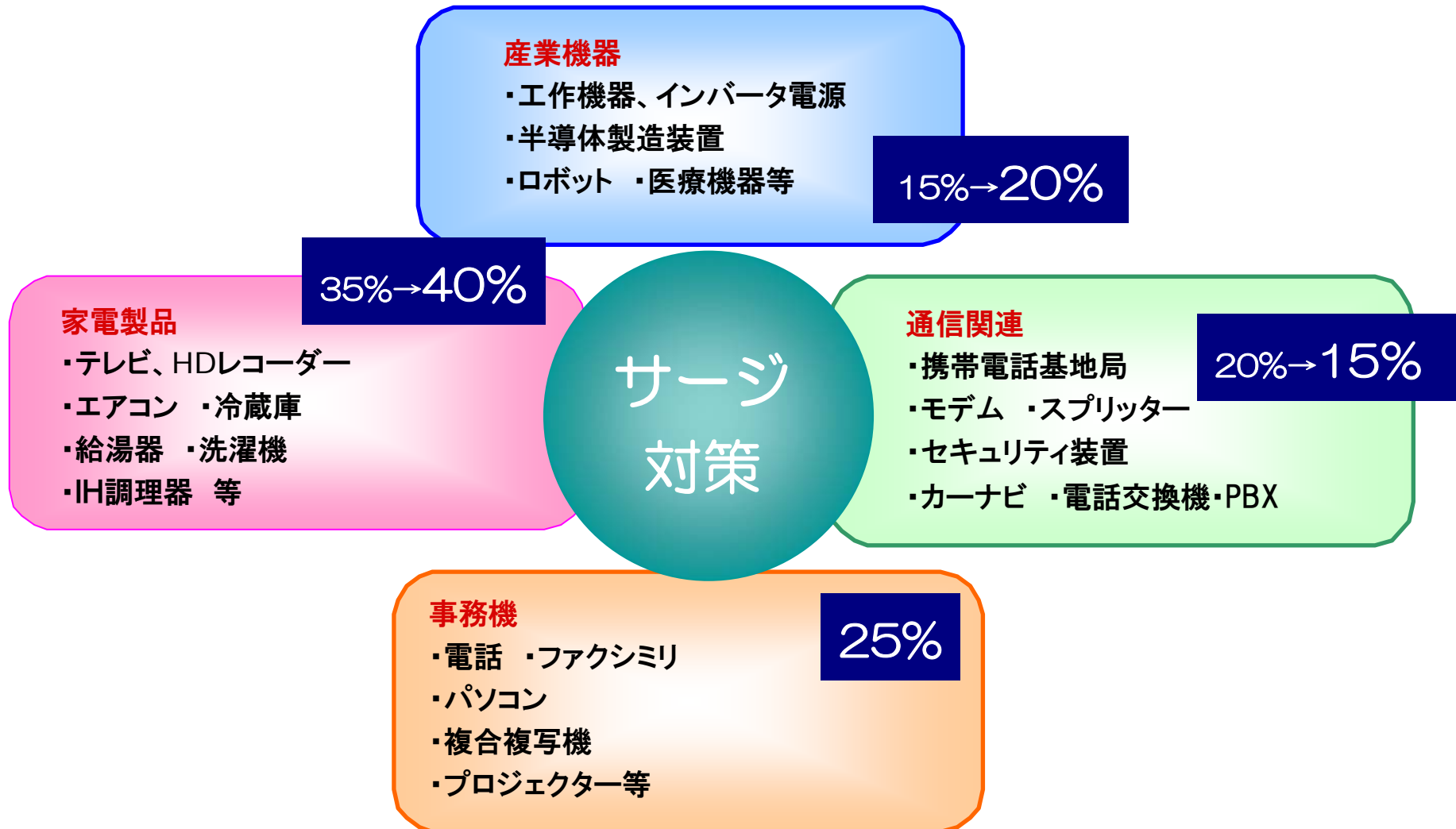
# ノイズ対策市場の現状

構成率変化 09年→10年

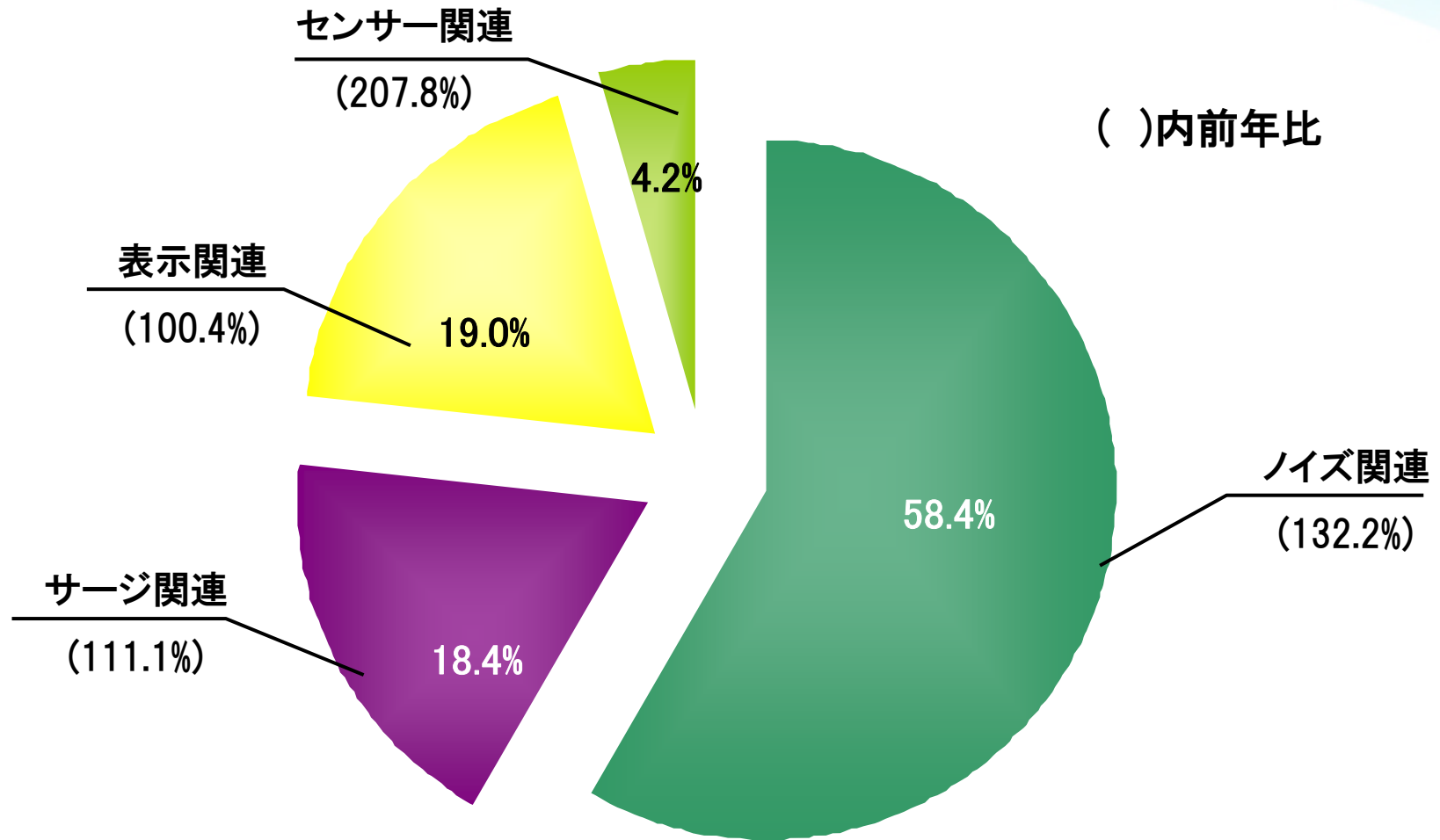


# サージ対策実施商品

構成率変化 09年→10年

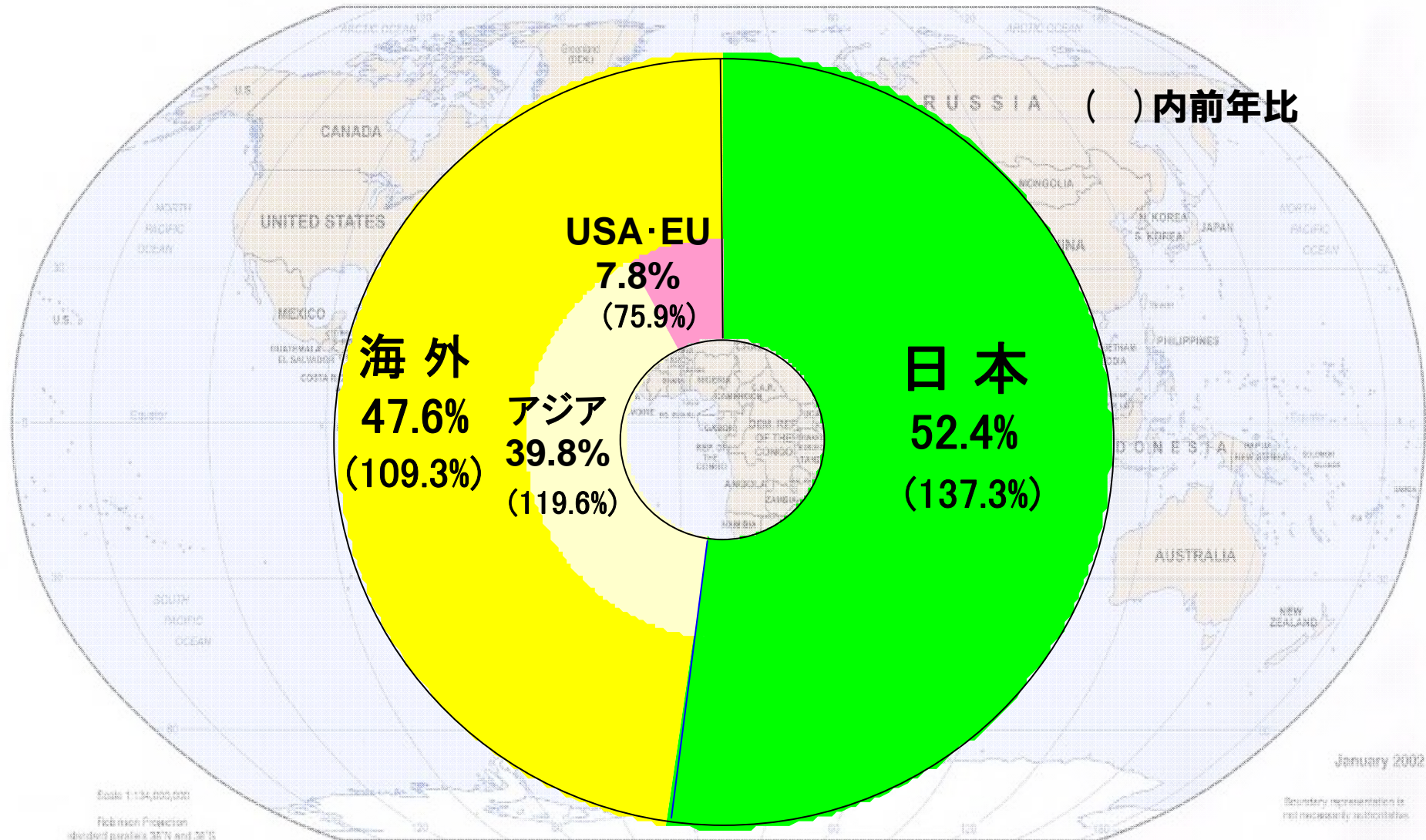


# 事業別売上高



(売上高構成比 11/3期)

# 地域別売上高



(売上高構成比 11/3期)

## 販売・生産活動

### 1. 受注動向—「エコポイント」「猛暑の長期化」「中国内需の大幅拡大」による大幅受注増

- ・ 国内 — 中国向工作機・半導体装置用部品が年間を通じて、安定受注
- ・ 海外 — パソコン・テレビ等が、アジアで大幅増産  
(部品の生産能力を大幅超え)
- ・ 中国内需拡大策効果で、富裕層向に受注拡大
- ・ 中国内需エアコンのインバータ化がスタート、  
具体的にサージ部品等受注

### 2. 生産動向

- ・ 1Q～3Qは、納期遅れ対応に追われた(生産個数は、過去最大レベル)
- ・ 2009年度値下りした材料が再び2010年度は、値上り傾向  
特に1月以降は急激な値上り(3月は、8%UP)
- ・ 中国工場の最低賃金UP ①2010年5月 20%UP ②2011年3月 20%UP

# 2011年3月期 業績

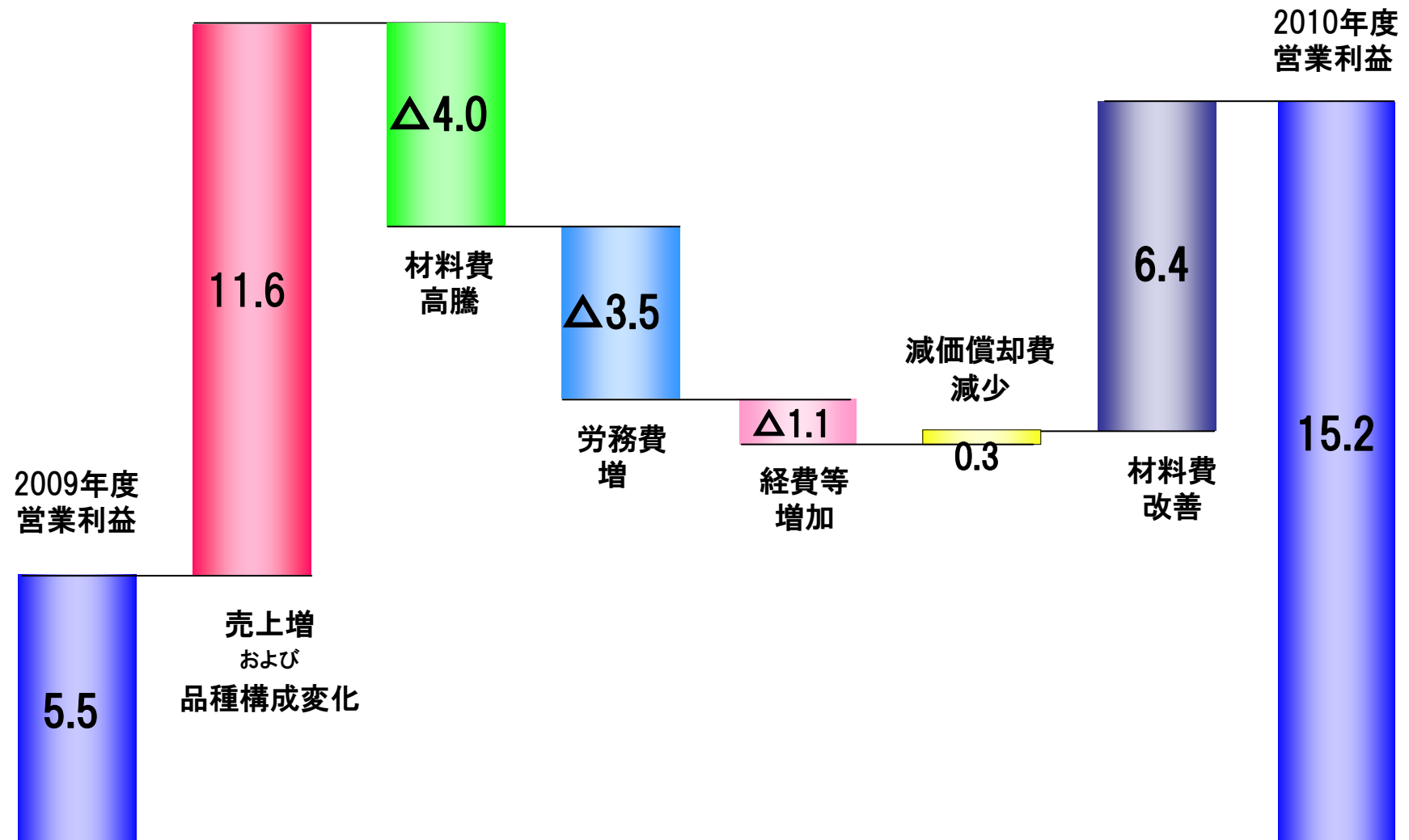
## 業績(連結)

(単位:百万円、%)

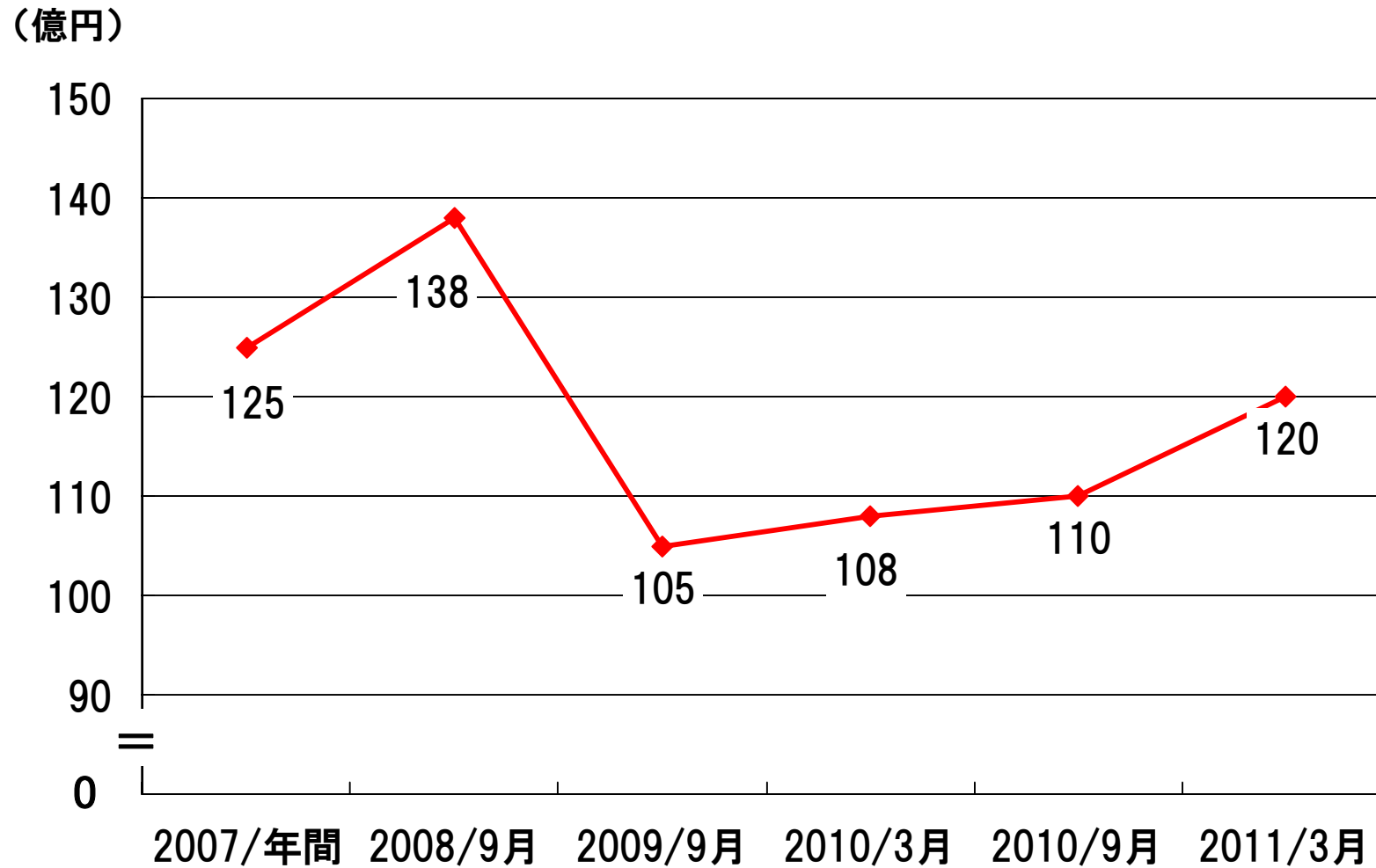
	10/3期	11/3期	増減	増減率
受注高	12,371	15,850	3,479	128.1
売上高	11,839	14,488	2,649	122.4
ノイズ	6,399	8,459	2,060	132.2
サージ	2,399	2,664	265	111.1
表示	2,750	2,761	11	100.4
センサー	291	604	313	207.8
売上総利益	2,736	3,979	1,243	145.4
売上総利益率	23.1	27.4	(4.3)	—
販売費及び一般管理費	2,186	2,456	270	112.4
営業利益	550	1,523	973	276.6
営業利益率	4.7	10.5	(5.8)	—
営業外損益	△68	△64	4	—
経常利益	482	1,459	977	302.3
特別損益	10	△140	△150	—
当期純利益	245	895	650	364.4

# 営業利益の増減分析グラフ

(単位:億円)



## 損益分岐点の推移（売上高／営業利益）





# 2011年3月期 業績

## 業績(連結)

(単位:百万円、%)

	10/3期	11/3期	増減	増減率
受注高	12,371	15,850	3,479	128.1
売上高	11,839	14,488	2,649	122.4
ノイズ	6,399	8,459	2,060	132.2
サージ	2,399	2,664	265	111.1
表示	2,750	2,761	11	100.4
センサー	291	604	313	207.8
売上総利益	2,736	3,979	1,243	145.4
<i>売上総利益率</i>	<i>23.1</i>	<i>27.4</i>	<i>(4.3)</i>	—
販売費及び一般管理費	2,186	2,456	270	112.4
営業利益	550	1,523	973	276.6
<i>営業利益率</i>	<i>4.7</i>	<i>10.5</i>	<i>(5.8)</i>	—
営業外損益	△68	△64	4	—
経常利益	482	1,459	977	302.3
特別損益	10	△140	△150	—
当期純利益	245	895	650	364.4

為替差損 △0.9億円

有価証券評価損 △1.2億円

## 2011年3月期 財務状況(連結)

(単位:百万円)

	10/3期	11/3期	増減
流動資産	6,229	7,496	1,267
現金預金	827	1,100	273
受取手形・売掛金	3,658	4,615	957
たな卸資産	1,228	1,344	116
その他	515	436	△ 79
固定資産	5,719	5,351	△ 368
有形固定資産	3,136	2,819	△ 317
建物・構築物	906	758	△ 148
機械装置・運搬具	978	731	△ 247
工具器具・備品	124	90	△ 34
土地	1,100	1,095	△ 5
建設仮勘定	26	142	116
無形固定資産	165	415	250
投資その他の資産	2,417	2,117	△ 300
流動負債	3,539	3,704	165
支払手形・買掛金	1,360	1,425	65
短期借入金	1,354	944	△ 410
未払法人税等	121	387	266
その他	703	947	244
固定負債	911	1,400	489
長期借入金	40	333	293
その他	871	1,066	195
純資産(資本)	7,497	7,744	247
総資産	11,949	12,848	899

・売り上げ**増加**による  
・手形の流動化取止めによる

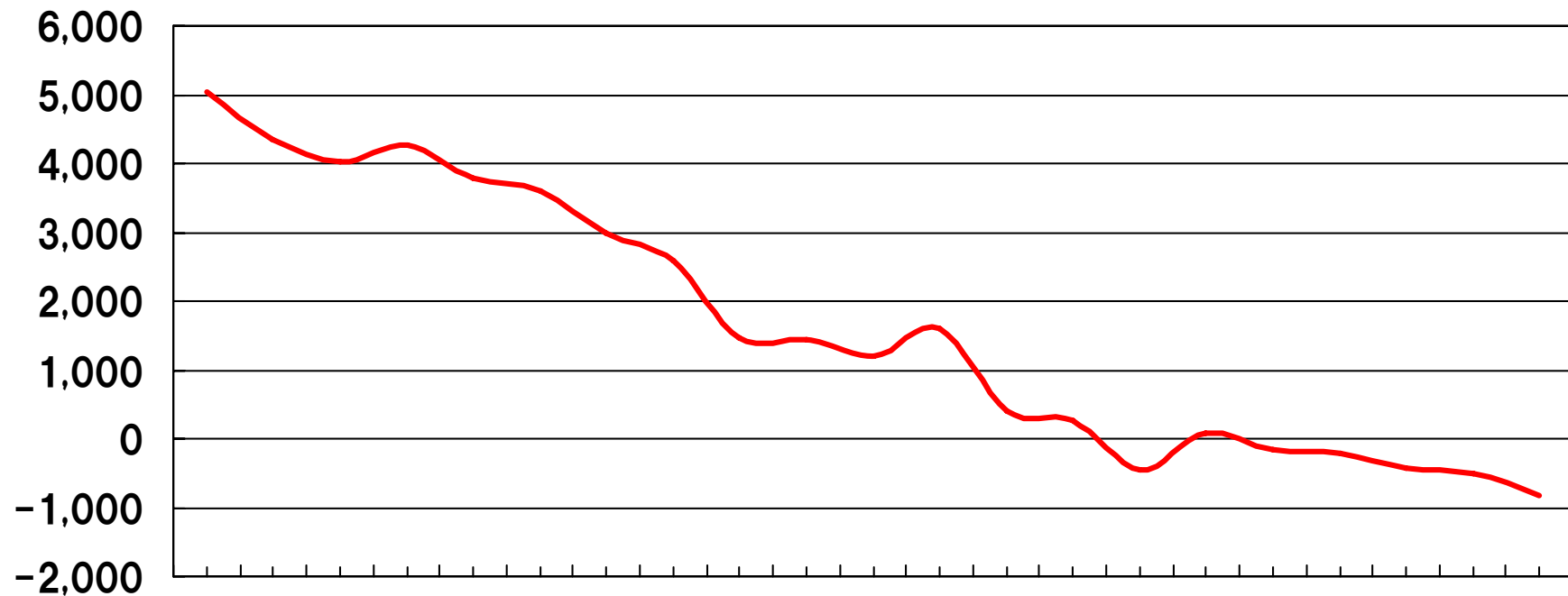
・設備投資の遅れによる

・有価証券の時価下落  
△ 2.7億円

・自己資本比率が**低下**  
62.7% → 60.3%

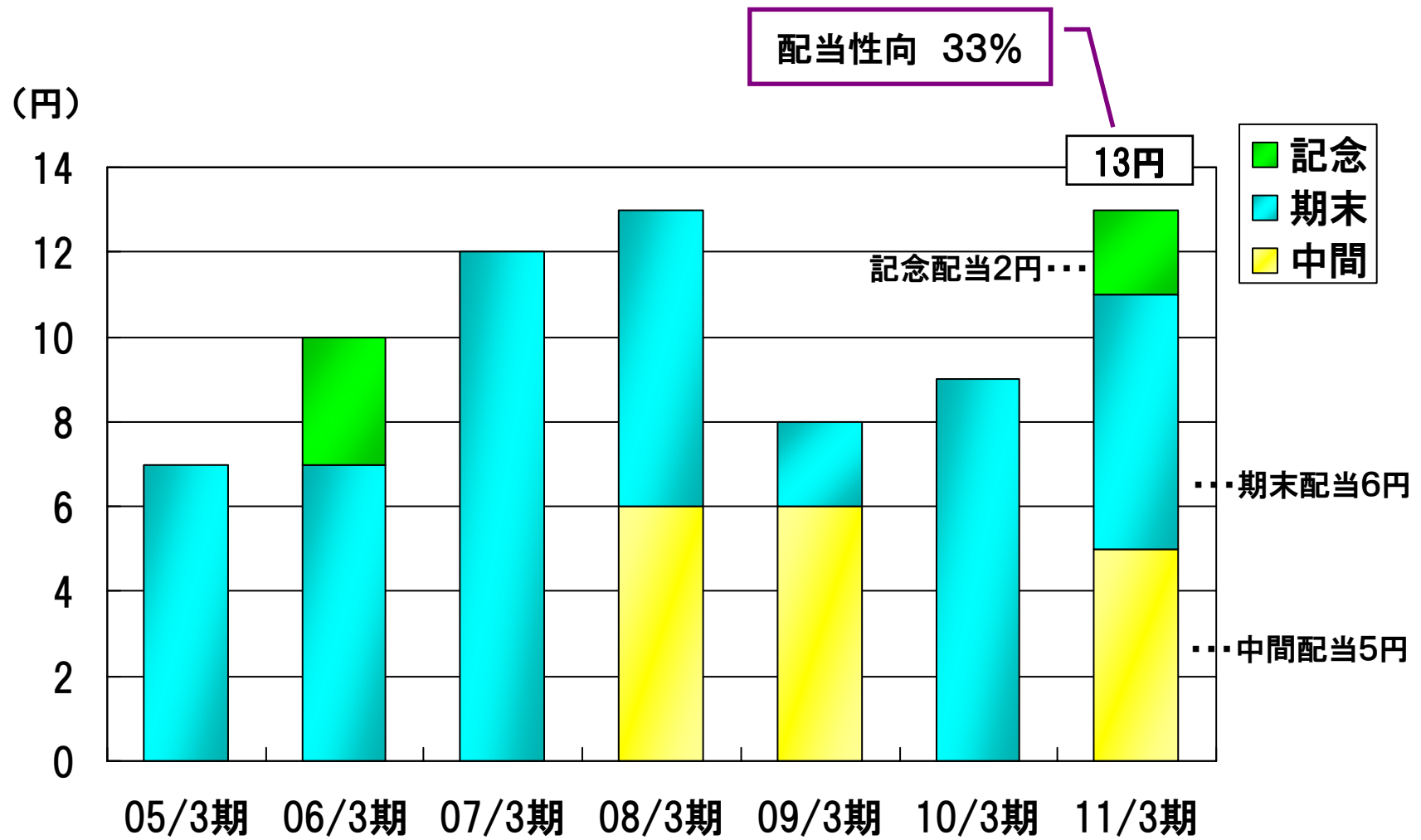
## 有利子負債の推移～健全な経営体質

(百万円)



2001.3月 2001.9月 2002.3月 2002.9月 2003.3月 2003.9月 2004.3月 2004.9月 2005.3月 2005.9月 2006.3月 2006.9月 2007.3月 2007.9月 2008.3月 2008.9月 2009.3月 2009.9月 2010.3月 2010.9月 2011.3月

# 配当の推移



**〔Ⅱ〕 2012年3月期  
(2011年度)業績見通し  
および  
今後の戦略**

## 2011年度の経営方針

### 【1】「人づくり」「質づくり」「新商品づくり」の年

「円高」「震災」等による国内  
事業の変化への対応  
(ECO関連、医療関連、交通関連等)

「OKAYAブランド」を強化

(営業の質・生産の質・財務、決算の質)

- ・「人づくり」は永遠かつ最重要テーマ
- ・OKAYAの2012年度は、大幅な世代交代の年

**実質成長は、5%に押さえても、体質強化を行う**

# 2011年度の経営方針

## 【2】 部材改善が大きなポイント

(1)2011年1月～3月で年換算 5億円の部材値上り済(8%UP)

(2)更に4月以降 3億円の部材値上りが予想される(5%UP)

13%UP

(3)部材大改善が必要(専任部門で対応)

- ①高騰する資源(Sn、Cu、Ni等、石油関連)の使用量を減らす
- ②購入先をアジアメーカーへ変更
- ③小さな改善の積重ね

(4)現在では、年換算5億円の改善まで見える(タイミングのズレ)

### 【3】国内事業縮小 リスクへの対応

## OKAYAを取り巻く環境

### 大きな変化（OKAYAのビジネスチャンス）

【Ⅰ】ガソリン車 → ハイブリッド車 → **電気自動車**（※1）

【Ⅱ】火力発電 → 原子力発電 → **ECO発電** ……開発部門を独立  
（太陽光・風力・バイオマス 等々）

【Ⅲ】フィラメント電球 → 蛍光灯 → **LED照明**  
……昇降機・駅舎・ショーウィンド等の業界へ

【Ⅳ】新興国（BRICS・ベトナム・中東 等）の台頭  
… 生産国＋**マーケット**



**【社名】 TOC キャパシタ株式会社（略称:TOCC）**  
**（英文名 TOC CAPACITOR CO.,LTD）**

※1

- 【本店所在地】** 長野県岡谷市天竜町3-20-32
- 【資本金】** 1億円( TPR50% + OKAYA50% )
- 【主な役員】** ・代表取締役社長 丸山 律夫(非常勤)(OKAYA代表取締役会長)
- 【顧問(非常勤)】** ・技術顧問 石川 正司(関西大学教授)
- ・アドバイザー顧問 山本 匡吾(トヨタ中央研究所出身 TPR顧問)

**【事業内容】**

- (主たる用途) ①車輻(列車、電気及びHB自動車、電動二輪車等)搭載用  
②各種重機搭載用  
③ECO発電コンディショナー用
- (事業) 電気二重層キャパシタの開発・製造・販売

- 【日程計画】**
- ①会社設立 2011年4月1日
- ②開発期間 2011年4月1日から2年間
- ③製造・販売活動 2013年4月より
- ④販売規模 2015年18億円／年を目指す

### 【3】国内事業縮小 リスクへの対応

## OKAYAを取り巻く環境

### 大きな変化（OKAYAのビジネスチャンス）

【Ⅰ】ガソリン車 → ハイブリッド車 → **電気自動車**

【Ⅱ】火力発電 → 原子力発電 → **ECO発電** ……開発部門を独立  
(太陽光・風力・バイオマス 等々)

【Ⅲ】フィラメント電球 → 蛍光灯 → **LED照明**  
……昇降機・駅舎・ショーウィンド等の業界へ

【Ⅳ】新興国（BRICS・ベトナム・中東 等）の台頭  
… 生産国＋**マーケット**

# 市場変動の年 ——— 「生産国」から「マーケット」へ

## 1. 中国市場 ——— 「中国の日本化」 ※2

……中国東莞工場の独資化 新社名「東莞岡谷電子有限公司」

2012年2月生産開始予定

## 2. ASEAN 「経済共同体」

主要5カ国(インドネシア・マレーシア・フィリピン・タイ・ベトナム)

(中間・富裕層 4億人市場)……タイに駐在員事務所設立(2011年4月)

3. インド
- OKAYA顧客のインド生産2012年スタートと定める
  - OLLの生産品目拡大(FTA(自由貿易協定))
  - 販売網の確立……専任者指名

4. EU市場 ——— 日本と比較的同じ「価値感」・「品質志向」等を持つ  
EU市場へ参入

(工作機・半導体製造装置市場、交通車輛市場、医療業界、ECO発電等)

(2011年度)

……EU駐在 → 駐在員事務所設立 → 市場開拓

# 中国の日本化

(OKAYAのビジネスチャンス)

※2

1. 家電 — 高所得層(中間上層含む)の高品質・高安全志向



「日本ブランド」が売れる

2. エアコンの省エネ化(=インバータ化)



日本品のモノマネ

3. インフラ輸出

- ・高速鉄道化(新幹線技術+駅舎)
- ・スマートグリッド(スマートメーター)
- ・ECO発電
- ・電気自動車充電インフラ

4. 工作機生産額世界一 (コントローラーは日本より輸入)

①中国 110億US\$ ②ドイツ 80億US\$ ③日本 60億US\$

# 市場変動の年

## 「生産国」から「マーケット」へ

### 1. 中国市場 ——— 「中国の日本化」 ※2

……中国東莞工場の独資化 新社名「東莞岡谷電子有限公司」

2012年2月生産開始予定

### 2. ASEAN「経済共同体」

主要5カ国(インドネシア・マレーシア・フィリピン・タイ・ベトナム)

(中間・富裕層 4億人市場)……タイに駐在員事務所設立(2011年4月)

### 3. インド ——— OKAYA顧客のインド生産2012年スタートと定める

——— スリランカ工場の生産品目拡大(FTA(自由貿易協定))

——— 販売網の確立……専任者指名

### 4. EU市場 ——— 日本と比較的同じ「価値感」・「品質志向」等を持つ

EU市場へ参入。

(工作機・半導体製造装置市場、交通車輛市場、医療業界、ECO発電等)

(2011年度)

……EU駐在 → 駐在員事務所設立 → 市場開拓

## 2011年度の施策

### 【1】売上高

(1)前年比「実質成長率5%」をめざす  $145\text{億円} \times 1.05 = 152\text{億円}$

(2)円高予測(86円/\$ → 80円/\$)  $\frac{76\text{億円}}{\text{(国内分)}} + \frac{76\text{億円}}{\text{(海外分)}} \times \frac{80}{86} = 147\text{億円}$

(3)震災影響予測(△5%)  $147\text{億円} \times 0.95 = 140\text{億円}$

(4)上期=66億円(47%)、下期=74億円(53%)

### (5)生産体制の増加

①雑音防止用コンデンサ → 6,000万本/月 → 8,000万本/月 (10月度)  
└── スリランカ工場を増

②RAアブソーバ → 1,000万本/月 → 1,200万本/月 (10月度)  
└── 中国東莞工場を増

③RHCAアブソーバ → 100万本/月 → 500万本/月 (2012年/1月)  
└── 埼玉工場を増

## 【2】 営業利益

### マイナス要因

- ①部材費の高騰
- ②為替影響(円高、人民元高)
- ③中国東莞工場の人件費高騰
- ④東日本大震災の影響

### 主たる改善内容

- ①部材の改善
- ②スリランカ工場の増産
- ③中国東莞工場の機械化・省人化
- ④質向上  
(歩留・材料損失・高効率生産等)

## 【3】 2011年度 投資計画

1. 増産投資 ..... 700 百万円

スリランカ生産設備増強

雷サージ(RHCA)ライン増強

2. 省力化投資 ..... 300 百万円

東莞工場の自動化推進 ほか

3. その他 ..... 300 百万円

IT投資

品質改善 ほか

---

計 1, 300 百万円

▪ 開発投資 ..... 400 百万円



## 【4】 2011年度 為替予算レート

2010年度予算レート

- 1 US \$ = 80円 (90円)
- 1 HK \$ = 10円 (11.6円)
- 1 SP \$ = 62円 (65円)
- 1 EUR = 115円 (135円)
- 1 RMB = 12.4円

## 2012年3月期 業績見通し

### 業績(連結)

(単位:百万円、%)

	11/3期	12/3期 (計画)	増減	増減率
売上高	14,488	14,000	△488	96.6
ノイズ	8,459	7,850	△609	92.8
サージ	2,664	2,840	176	106.6
表示	2,761	2,700	△61	97.8
センサー	604	610	6	101.0
営業利益	1,523	950	△573	62.4
営業利益率	10.5	6.8	△3.7	—
経常利益	1,459	1,000	△459	68.5
当期純利益	895	700	△195	78.2

## 2011年度 配当

- ・ 中間配当 … 「5円」
- ・ 期末配当 … 「6円」

年間配当 … 「11円」

└─→ 配当性向 35%

## OKAYAのめざす道

### 1. 勝ちつづける力をつける

「人づくり・質づくり・新商品づくり」

### 2. 「V-200」を達成………2014年度目標

・売上 200億円

・営業利益率 10%(20億円)



格付

BBB<sup>-</sup>



BBB



「明日の“強いOKAYA”づくりへ投資」

# V-200達成へ再出発の年

Key Word : 「利益を伴った成長」をつくる

現在の商品群の力	必要な新事業・新商品
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Across</li> <li>▪ RA</li> <li>▪ RAV</li> <li>▪ LED/LCD</li> <li>▪ 工作機用センサー</li> </ul> <p style="text-align: right; color: red; font-weight: bold;">} 160億円の力</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center; color: black; font-weight: bold; margin-top: 10px;">             新市場の拡大が必要！         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Power Cap</li> <li>▪ 高周波・大電流NF</li> <li>▪ RHCA</li> <li>▪ 半官・半民SPD</li> <li>▪ LED照明</li> <li>▪ マルチカラーFS LCD</li> <li>▪ 新分野のLCD、センサー</li> </ul> <p style="text-align: right; color: red; font-weight: bold;">} 50億円必要</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center; color: black; font-weight: bold; margin-top: 10px;">             新事業、(新分野)の拡大が必要！         </div>

# **ご清聴ありがとうございました ご支援のほどよろしくお願いいたします**

## **連絡先**

**窓 口：経営システム部**

**メールアドレス：OEl\_Kouhou@okayaelec.co.jp**

**電話番号：03-4544-7000**

**FAX番号：03-4544-7007**

なお、本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が、様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。